

時はクローブの 甘い香りとともに

ラティ・クマラ 著／福武慎太郎 監訳・宮崎幸 訳

Netflix シリーズ
『シガレットガール』の原作
★11月に原著者来日予定！四六判並製 / 260 ページ 予価 [本体 2500 円 + 税]
ISBN978-4-7791-3150-9 C0097

激動の歴史に翻弄されたインドネシアの 約 100 年にわたる壮大なドラマ

2000 年代初頭のジャカルタ。甘い独特の香りを持つクローブ入りタバコ最大手の経営者が、死の床で妻とは別の女性の名を呼んだ。三人の息子たちは父の最期の願いをかなえるため、彼女を探す旅に出る。息子たちは旅のなかで、一家の隠された過去と、そこに深く関わったもう一つの家族の存在を知る。そして、クローブタバコをめぐる愛と憎しみが交錯する二つの家族の、歴史ドラマが明らかになっていく——。物語はオランダ植民地期（20 世紀初頭）までさかのぼり、日本軍占領時代、インドネシア独立を経て、政変とその後の弾圧の時代、そして現代までのインドネシア近現代史を背景に展開される。

予想外の結末、最後まで目が離せない！

《本作はインドネシア初 Netflix オリジナルシリーズとしてドラマ化！》（原作 "Gadis Kretek"/ 英題 "Cigarette Girl"）（原著者も脚本家として参加）。配信に先立つ 2023 年 10 月、釜山国際映画祭にてプレミア上映され注目を集める。同年 11 月、世界配信開始後 1 週間で 160 万時間以上視聴され、Netflix 非英語 TV 作品部門のトップ 10 にランキング。インドネシアでは 2 週連続で視聴数 1 位、マレーシアの他、チリ、メキシコ、ベネズエラ等の南米やルーマニアでもトップ 10 にランクインするなど大ヒット作品となっている。2024 年ソウル国際ドラマアワードで最優秀ミニシリーズ賞受賞。

●ラティ・クマラ (Ratih Kumala) = 1980 年生。スプラス・マレット大学卒。小説家・脚本家。本作はクサラ・サストラ・カトゥリスティワ文学賞にノミネート（インドネシア、2012 年）、チョムナード女性文学賞（タイ、2024 年）受賞。

●福武慎太郎 (ふくたけ・しんたろう) = 上智大学総合グローバル学部教授。専門は文化人類学、東南アジア地域研究（東ティモール、インドネシア）。編著『東ティモール——独立後の暮らしと社会の現場から』（彩流社）、『珈琲の哲学 デー・レスタリ短編集』などインドネシア現代文学選集（上智大学出版）の翻訳を手がける。

●宮崎幸 (みやざき・ゆき) = 上智大学インドネシア語非常勤講師。インドネシア語翻訳・通訳者。



TEL : 03-3234-5931

彩流社

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町三丁目10番地 大行ビル6階